

**第2回 南関町南の関うから館等活用検討委員会  
議事録**

開催日	2022年12月16日（金） 9：30～11：40	場所	南の関うから館2階会議室
出席者	委員：別紙（委員名簿）の通り 一般傍聴参加者：3名 事務局：別紙（委員名簿）の通り 市浦ハウジング&プランニング：高屋、清水、吉水（記録） ブルースタジオ：大島、玉手、西府		
資料	次第、WS実施概要（資料1）、うから館の活用に関する計画条件（資料2）、うから館の改修方針（案）（資料3-1）、別紙（資料3-2）、うから館の運営方式について（資料4）、活用検討委員名簿（参考資料1）、第1回活用検討委員会 議事概要（参考資料2）		

**1. 開会**

一般参加者より録音録画（今回の改修検討に関する個人的な記録用）の許可を求める申し出があった旨を事務局より説明し、個人・事務局で情報管理を行うことを前提に委員会の了承を得た。

**2. 委員長あいさつ（西郷委員長）**

今回は公開の委員会であり、一般傍聴参加者の方には御礼申し上げます。本日の流れは次第の通りだが、特に改修方針について様々なご意見をいただきたい。「これは無理なのでは」と感じる意見でもためらわず、思うことは何でも話してほしい。そうした意見は、そのまま取り入れることは困難でも、思いとして受け止めて計画のベースの部分で反映することは可能である。本日も活発な意見交換を期待している。

**3. 議事**

**（1）ワークショップ（以下、WS）の実施概要（報告）**

・受託者より資料1の説明を行った。

■資料1質疑

西郷委員長 「田園風景とうから館コース」のまち歩きルートで北にそれた道があるが、どこを歩いたのか。

島崎委員 池の北側にある大きな民家ではないか。製麺所を示したいのであれば、資料のルートは別ルートである。

大島（ブルスタ） まち歩き・コース設定の趣旨について補足する。「田園風景とうから館」コースは特に、コースそのものよりも、エリアの特長をどうとらえ位置づけるかを重要視している。「田園風景とうから館」は里山が広がり、四季を感じる里の風景のあるエリアである。そして、「日常生活とうから館」は生活に密接にかかわる商店等があるエリア、「旧街道とうから館」歴史の趣を感じるエリアと捉えている。まち歩きを元に、前述の3つの個性的なエリアがあると仮説をたて、計画の前提とした。

坂田委員 どのような考え方でグループ分けを行ったのか。

大森係長 できるだけ様々な属性（年代・性別）の人を1つのグループに集め、第1回WS（町あるき）では各グループに1名、地元詳しい人を配置した。

大木副委員長 資料1 p.1では第1回WSの参加者が20名だが、p.2の表では23名で齟齬がある。

高屋（市浦） 資料1 p.1が誤りで、正しくは「23名」である。

西郷委員長 うから館の建物内部についてだけでなく、外から見た姿を意識したWSが行われ、資料化されている点が良いと思った。参加者がまちの中でうから館がどのような存在

か確かめ、その方向性について考える機会となった良いWSだったと思う。

永松(泰)委員 とても良いWSだった。ただ、第2回WSで図書館がうから館にある前提で話が進められたことに少し違和感があった。本のある空間での過ごし方に関する意見が多かったのは良かった。

竹崎課長 昨年度の地域未来構想において、うから館を「本のあるたまり場」とすることは決定事項であるが、WSの時点では図書館の全移転を想定したものではない。

## (2) うから館の計画条件及び改修方針について

・受託者より資料2、3の説明を行った。各資料の説明ののちに質疑応答を行った。

### ■資料2(うから館の計画条件) 質疑

西郷委員 長 まずは記述された言葉や数値についての単純な確認や指摘があれば伺いたい。その後、具体的な計画条件(図書館全面移設等)についての意見を伺いたい。

山口委員 p.13 3-4「調理実習室の設備機器状態確認」の「調理機器」の項は「ガスがないため確認できず」とあるが誤りではないか。今年も地域子ども食堂でガスを使用した。

大森係長 調理実習室×→調理室○(レストランホールのもの)の誤記と考えられるため、調査者に確認のうえ訂正する。調理実習室のガスは使用可能だが、調理室は使用できない。

大木副委員長 p.9 表2の備考欄の数値(人数)の記載意図は何か。部屋の必要面積の参考にするには大雑把な数字ではないか。需要を明確に示すには、実績の最大人数を記載すると説得力が増すと思った。

竹崎課長 数値は実績値で、部屋の規模の判断材料としている。

大森係長 表2は教育課で管理している情報を元に作成した。最大人数は追記する。

松本委員 公民館の受け皿の観点で意見する。図書館移設については詳細な分析があるが、公民館については2階の計画に係る分析が見えづらい。1階の集会交流機能の諸室も、部屋によっては広さだけ補充した使いづらいものに見える。公民館機能を今回計画でどの程度反映されるのか知りたい。

西郷委員 長 今のご質問を踏まえて、この後計画説明をしていただくこととする。

谷口委員 p.7 表の②で「(図書館に)700㎡程度あるのが望ましい」との記載がある一方、計画対象面積は3000㎡弱であるため、1階に700㎡相当の図書館を入れてもなお余裕がある計画だという認識でよろしいか。

高屋(市浦) その認識でよろしい。なお、700㎡はあくまで図書館スタッフの要望であり、改修方針案においては他の様々な観点をも踏まえた建築計画・面積設定を行っている。

永松(泰)委員 資料3-2に「図書館機能」(985㎡)と記載がある。学習室・閲覧室の確保や適切な書架の幅を考慮して、十分な面積だと感じた。書架の幅が広がるのも、利便性が向上して良いことだと思う。公民館機能の小部屋の確保については、十分な計画か、まだ判断できないと思った。

- 西郷委員長 次に、図書館の全面移設という点で問題がないか、前田委員に専門家として意見をいただきたい。
- 前田委員 本を守る観点等から意見を述べる。①火気・水気・湿気等の管理が重要だが、調理場の横に閉架書庫があると管理が困難ではないか。②あそび場（子供がにぎやかに遊ぶ）の横におはなしコーナーがあると子供が読み聞かせに集中しづらいのではないか。③外遊びの後、汚れた手のまま本を読まないよう配慮すべきである。④大規模な図書館では、本を守る観点から消火方法やトイレ位置にも配慮されていると聞いている。
- 西郷委員長 図書館の中で静かな機能と騒がしい機能をどのように計画するかについて、改修方針案の説明の中で触れていただきたい。④は具体性が高いため、次回委員会で議論するレベルの内容である。全面移設に関しては問題ないと言えるか。
- 前田委員 周辺市町の図書館は直営でなく、指定管理者による経営が多い。移転して一つにまとまるのは良いが、うから館に図書館を全面移設した場合、図書館部分だけでも町に運営してほしい。
- 西郷委員長 図書館の全面移設に関しては、全委員、特に問題なしとして、次の議事に移る。

■資料3（3-1：うから館の改修方針案、3-2：別紙）質疑

- 前田委員 芝生広場（子供のあそび場）に隣接する戸建住宅は今までの音環境（静けさ）が保証されなくなると思う。同様のイベントに参加してきたのだが、そこでは音楽や子供の遊ぶ声が響いていた。近隣の苦情が発端で公園や遊び場が閉鎖される事例もあるため、配慮が必要と考える。
- 大島（ブルスタ） 「芝生広場」の範囲は現状も広場である。またイベント以外では苦情が出るほどの音は発生しないと考える。住民へ説明してご理解いただく必要はあると考えている。
- 西郷委員長 戸建住宅住民への事前説明や配慮等の対策が必要という指摘である。検討いただきたい。
- 松本委員 集会交流機能の研修室やフリールームの面積、収容人数の目安を知りたい。
- 玉手（ブルスタ） 公民館利用実績によると、利用頻度が高いのは視聴覚室（90㎡）、和室（77㎡）、第一会議室（50㎡）であった。改修案ではフリールーム（89.4㎡）、音楽室（59.5㎡）、研修室（34.3㎡）で各室を補完するよう計画している。音楽室も研修室としての利用が可能である。
- 高屋（市浦） 2階の大広間が継続的に公民館機能を担うことが前提条件であり、現況の公民館諸室を全て1階に収める計画ではない。1階は少し特徴ある活動を、場所の特性に応じて計画したいという趣旨である。
- 松本委員 上下足の履き替えの考え方を知りたい。履き替え場所や広さ（多めの人数を見込むべき）についての意見が文化協会内でも出た。
- 大森係長 1階は下足利用、2階は上足利用とし、2階ロビー部分での履き替えを考えている。靴箱不足の際はこれまでと同様、臨時の置場を設ける（シートを敷く）等の対応が

考えられる。

- 松本委員 今回の計画で2階の改修に予算が見込まれているのか、さらに、改修の予定があるかを知りたい。音響機能の改修や、ロビーの薄暗さの解消は見込まれているか。
- 西郷委員長 2階の改修は今回の検討範囲外であり、別プロジェクトにて行われると理解している。今後の予定も含め、事務局よりご回答いただきたい。
- 竹崎課長 2階の改修は今回の検討範囲外で、現時点で今後の2階の改修等の方針は未定である。ただし、今回は大規模改修も併せて行う予定であり、その範囲で必要に応じて2階に係る改修も行うつもりである。
- 松本委員 今年、2階大広間で文化協会の文化祭を開催した際、ついたてをうまく利用した会場運営を行った。公民館に比べてコンパクトに開催できたとの高評価もあがったため、今後もイベント時についたてを利用したい旨、協会からも要望を提出した。公民館を補完する場所として町に最低限用意してほしいものに関する要望が他にもあると思う。そうした要望をもう少し突っ込んで調査し、取り入れていただきたい。
- 酒見委員 図書館機能について、母親視点では、静かにしなければと遠慮が必要な場所よりも、改修方針案のように一緒に遊びながらゆっくり楽しめる場所が好ましいと思った。蓋つきの飲み物など持ち込めるのも良いと思う。小さい町の図書館で子供が遊べるようなものは他にあまりないため、現案は魅力があり、皆がわくわくするものになると思う。  
お金の面で実現性に疑問があるため、概算等がわかれば、より自分事として考えられると思った。また、全面移設については、経費の有効利用や運営負担の観点から賛成する。飲食機能について、店舗に客席を配置することは検討しているか。また食事の提供方式はカウンターでの受け渡しを想定しているか、お聞きしたい。
- 玉手(ブルスタ) 図面で「店舗(27.04㎡)」と記載のある部分は全てキッチンであり、「客席」と記載した部分で飲食ができるイメージである。ただし、運営方法により事業形態や建築計画(キッチンの仕様・広さ等)も左右されるため、詳細は実施設計段階で詰めていく。資料3-2の図面では、カウンターで受け渡す形式を想定している。
- 山口委員 改修後もうから館で地域子ども食堂を継続したい。現在は、調理実習室で調理したものを畳の間やレストランホールに運んで食べており、大変だと感じている。可能であれば、調理実習室の近くに飲食できる場所がほしい。
- 大島(ブルスタ) 子ども食堂の実施環境について伺いたい。うから館にたくさんの飲食利用者も来館している状況を想定した場合、それらの利用者の飲食場所と子ども食堂の実施場所は区別するほうが望ましいか。同じ場所で食べるのか望ましいか。
- 山口委員 運営側の立場からすると一般の飲食利用者と区別がつかないと困るため、子ども食堂の場所は独立させたほうが良いと思う。出入口①を入れてすぐのホールのあたりで食べられると良いと思う。調理実習室の場所にこだわりはない。
- 大島(ブルスタ) ご意見を踏まえ、厨房の位置も含めて今後検討を進める。
- 永松(泰)委員 ①資料3-2中「事務スペース(51.1㎡)」は図書館事務室を指すか。飲食機能の隣に

事務スペースがあるのは空間的に好ましいか疑問である。事務スペースの近くに会議室が必要と考える。

②サービスカウンター・ブラウジングコーナー・客席のあたりがごちゃごちゃしそうで思った。

③ゾーニングの色分けが重なる部分が曖昧で機能面が少し心配である。

④空間をオープンにする計画は評価できるが、構造的な安全性は確保されるか。

前田委員 ①の補足であるが、現図書館の会議室はボランティア会議・展示・利用者の軽飲食コーナー等として利用されていた。ボランティア会議等で引き続き会議室は必要だと考えるが、研修室を他団体と共同で利用するイメージを持った。

玉手（ブルタ） ①については、前田委員のおっしゃるとおり、研修室等の利用で対応いただけると思う。軽飲食は店舗・客席部分で行える。④については、構造の専門家と協議しながら検討を進めており、耐震性を含め、構造の安全性が低下しない計画としている。

前田委員 入口から入った瞬間に、本がぱっと見えて子供がどきどきわくわくできるような空間だとなお良い。高齢者にとっても、入口から本の配置が遠すぎないのは優しい空間といえる。

また、運営方法に関しては、町の直営を強く希望する。直営でない場合、現在町が注力している移動図書館や団体図書館の貸し出しが困難になること、そして地域とのかわりが希薄になることを懸念している。

西郷委員長 移動図書館は現状でも行っているか。

大森係長 行っており、今後ともサービスの低下をはかる計画はない。改修方針案についても、図書館の運び出し等に空間的にさらに配慮した計画を検討中である。

西郷委員長 他のご意見は、事務局に個別に寄せていただくこととする。

### （３）うから館の運営方法について

・受託者より資料４の説明を行った。

#### ■資料４（うから館の運営方法）の質疑

前田委員 私は約 30 年「日本子どもの本研究会」（全国規模の団体）に所属し、全国の図書館や運営の状況を見聞きする機会がある。小郡図書館の館長の体験談によれば、指定管理者制度を導入したところ地域とのつながりが切れたため市営に戻したとのこと。指定管理者になるのはさみしく、ぜひ町営としてほしい。他市町から「小さい町でも直営でできるんだ、頑張っていていいな」と羨まれている側面もあると思う。

竹崎課長 今年度は改修の基本計画・設計、来年度は実施設計を行い、運営方法については並行してもう暫く時間をかけて決めていくため、お待ちいただきたい。

### （４）その他

嶋永委員 本日示された図面は決定ではなく方針を示すものと考えてよいか。複数の点で無理のある計画だと感じた。例えば、図書館の分類分け毎の管理や動線計画が気になる。

島崎委員 委員から寄せられた個別意見への対応は、次回委員会で示されるのか。

西郷委員長 事務局は対応を示すようにしていただきたい。

大森係長 図面は確定でなく、委員会でのご意見を踏まえて検討を進める。

## 4. 今後のスケジュール等

- ・事務局より、委員会後の個別意見は来週いっぱいを目途に事務局に送るよう説明。
- ・第3回活用委員会は2月末～3月初旬に公開で開催予定。今後日程調整のうえ日付を確定する。

## **5. 閉会**

以上

## 南関町南の関うから館等活用検討委員名簿(任期:R4.8.29~R5.3.31)

番号	区分	所属	職名	氏名
1	識見を有する者	崇城大学建築学科	教授	西郷 正浩
2	住民を代表する者	南関町区長会	区長会長	末竹 信雄
3	各種団体の代表	南関町商工会	商工会長	永松 史人
4	公民館・図書館利用者代表	南関町文化協会	文化協会員	松本 隆明
5	公民館・図書館利用者代表	図書館運営協議会	運営協議会員	前田 朱美
6	各種団体の代表	地域婦人会	婦人会員	永松 泰子
7	各種団体の代表	生活研究グループ 連絡協議会	協議会員	葛城 れい子
8	各種団体の代表	A-lifeなんかん	理事	釘本 種幸
9	各種団体の代表	社会福祉協議会	事務局長	島崎 演
10	町民代表(公募)			酒見 夕貴
11	町民代表(公募)			山口 明美
12	町職員	南関町役場	地域おこし協力隊	岩下 小太郎
13	町職員	南関町役場	副町長	大木 義隆
14	町職員	南関町役場	教育長	谷口 慶志郎
15	町職員	南関町役場	総務課長	坂田 浩之
16	町職員	南関町役場	建設課長	嶋永 健一
17	町職員	南関町役場	教育課長	武田 博
18	町職員	南関町役場	福祉課長	田代 由紀
19	事務局	南関町役場	まちづくり課長	竹崎 俊一
20	事務局	南関町役場	まちづくり課 課長補佐	大塚 菊雄
21	事務局	南関町役場	まちづくり課 商工観光係長	菅原 順子
22	事務局	南関町役場	まちづくり課 企画振興係長	大森 敏和